

ドクター中釜の 健康ばんざい!!!

Vol. 2

「つつがなくお過ごしくください」

毎月第4月曜日

「つつがなくお過ごしくください」とは昔から相手の健康を願う挨拶でした。これは中国紀元前3世紀、「戦国の七雄」のひとつ趙の国に嫁入りした斉王の娘威太后が国や父を案じた言葉「王亦た恙無きや」から来ており、「つつがなき」とは病気であるというだけでなく憂いや悩みなく穏やかでいる状態を意味しました。驚いたことに、これはWHO(世界保健機関)憲章の「健康」の定義にとっても似ているのです。

「健康とは、病気でないとか弱っていないということではなく、肉体的にも精神的にも、そして社会的にもすべてが満たされた状態にあること。」(日本WHO協会訳)つつがなく健康であるということは、今も昔も変わらない人々の願いなのです。

さて、「ツツガムシ病」という病気があります。ダニの一種であるツツガムシによって媒介されるリケツチアという病原体が起す感染症です。室町時代の辞書「元和下学集」に「恙つつがは人をさす虫なり。(中略)彼の虫人をさして害を為す。」とあるように日本の風土病でした。

ダニを媒介とする病気は世界各地に見られ、ニューヨーク近郊で気をつけたいのはライム病です。鹿につくダニにかまれた後、大きな目玉のような湿疹からはじまり、その後軽い風邪のような症状が続き、治療を怠ると全身性の重い病気に進みます。

日本では最近、マダニが媒介する重症熱性血小板減少症候群(SFTS)という非常に致死率の高い感染症も話題になっています。

これからの季節、トレッキングやバーベキューで穏やかに自然を楽しみたいものですが、肌の露出を控えた服装や虫除けに心がけ、ぜひつつがなくお過ごしくください。



【Dr. 中釜知則】
一般診療科、家庭医学科、
内科、小児科、婦人科
日本クリニック
212-575-8910